

【第3部】魅力的な観光PRについて（ワークショップ）

1. 旅行に行く際に参考とする媒体について

【参加者が参考とする媒体】

媒体名	人数	媒体名	人数
TV	0	新聞	0
雑誌	8	SNS	11
観光協会 HP	3	オンライン予約サイト	6

- ・ 以前はテレビの旅番組の影響力が圧倒的に強かったが、もっと情報が取りやすい媒体がある。テレビは後で振り返ることができないので、情報として流れて行ってしまふ。
- ・ 雑誌を購入する比率は下がっていて、旅行雑誌はコンビニにも置いてもらえない。
- ・ 観光協会のHPは質の差が大きい。
- ・ 以前ほど新聞に旅行会社の広告が入らなくなっている。
- ・ SNSを使いこなせる人が増えてきている。
- ・ オンライン予約サイトは宿から決定するが、企画がたくさん掲載されている。

2. 観光協会のホームページへの提案

- ・ 観光する場所はたくさん載っているが、飲食店の情報があまり載っていない。店を特定することは難しいと思うが、美味しそうな食べ物が載ってるページだったら、もっと見られるのではないかと思う。
 - うまく行っている地域のHPには飲食店の情報が掲載されている。
- ・ 来てほしい側はいい情報しか掲載しないので、参考にならない。客観的な視点からの情報も掲載されていれば、信憑性ももっと出てくると思う。
 - 観光協会HPで個人の口コミを見たことがない。民間のサイトにはあるが、事情はあると思うが、使う側からすれば載っていないサイトは参照しない。
- ・ 子供連れて行くにしても、トイレがどこにあるとか、実際こんな感じで遊んでいるよみたいな写真が全然ない。例えばお花見できるといっても、にぎわっている様子が掲載されていない。そのため、別のサイトを参照して、訪問を検討することとなる。楽しそうな写真が、何枚かあればイメージが湧きやすいと思う。
 - こういう公共的なサイトでは「物」を撮ってしまうことが多い。使う側からするとそういうシーンが見えないものって、わかりにくかったり、冷たく感じたりする。
- ・ もう少し具体的な半日コース・1時間コースや神社仏閣めぐり・美術館めぐりなどを掲載してもいいと思う。
 - カタログ的、雑誌的な作り方が効果的かもしれない。
- ・ それぞれの年齢層に対して掲載していくものをもう少し絞り込んだほうがいい。目的地の情報を参考にする際、ここへ行ったついでにあと近くで何かないか探すが、情報がちょっと偏っているように感じる。
 - 今のHPの技術では、ボタン一つで表示内容を変えたりもできる。
- ・ ガイドツアーなどのイベントを実施して掲載してほしい。
- ・ 動画を多く作成しているが、まちづくり会議に出席している人の中でも知らない人がいるくらい届いていない。
 - HPに掲載しても、そこまで誘導してくる仕掛けが必要。見てもらえないと意味がない。